

# もゆる浪漫

山形市立第八中学校だより  
第4号 校長 長沼 政直  
令和7年7月24日 発行

## 山形八中男子バレーボール部東北大会出場 ～ 山形県中学校総合体育大会 ～

7月19日(土)、20日(日)、天童市の山形県総合運動公園体育館で、山形県中学校総合体育大会バレーボール競技が行われました。準決勝で酒田四中に敗れましたが、東北大会代表決定戦に進み、勝利を勝ち取りました。東北大会は、岩手県花巻市で8月2日(土)～4日(月)に行われます。地域の皆様、保護者の皆様方の応援これからもよろしくお願いいたします。また、男子卓球個人では、高橋 龍矢 選手が4回戦で第1シードの選手と対戦した結果、惜敗しましたが、ベスト16と健闘しました。

### <男子バレーボール> 第3位

- 1回戦 対 米沢四中 2-0 ○
- 2回戦 対 鶴岡三中 2-0 ○
- 準決勝 対 酒田四中 0-2 ●
- 東北大会代表決定戦  
対 山形六中 2-1 ○



### <卓球 男子個人> ベスト16

- 2回戦 対 鶴岡三中 3-0 ○
- 3回戦 対 河北中 3-2 ○
- 4回戦 対 長井南中 0-3 ●

### <バレーボール部、東北大会代表決定戦での逆転劇から考える>

この大会では、男子バレーボール部の関係者以外にも、多くの保護者や八中職員が応援に駆けつけました。本当にありがたいことです。私も、八中の選手たちの大会での活躍の様子から多くのことを学びました。

1回戦、2回戦は、実力を遺憾なく発揮し、危なげない試合運びをしました。準決勝では、試合の流れが相手にある場面がわずかに多くあり、それ以外は互角の戦いをするも点差を詰めることができませんでした。気分一新、東北大会をかけて戦う相手は、市中総体の決勝戦で負けているチームでした。1セット目、相手の勢いを抑えることがなかなかできず、23-25でセットを落としてしまいました。そして、後がない2セット目、八中に最大のピンチがきました。7対13と6点リードされたのです。普通に考えれば、相手はあと12点取れば勝ち。八中は相手より先に18点取らなければならない状況です。しかし、この苦しい状況から、攻撃のボールをエースに集め、粘り強く戦いました。その後、24-24のデュースに持ちこみ、一進一退の心のぶつかり合いの結果、33-31の大逆転で2セット目を取り返しました。3セット目は、2セット目の勢いのまま集中力を切らすことなく、25-18で押しきり、東北大会出場権を獲得したのです。

私は、本校の県中総体壮行式において次のような話をしています。

「試合の流れは常に変化しています。ですから、相手の流れを切るために、「何とか1点」、挽回しようとする気持ちが欠かせません。また、こちら側に流れがあるときには、「さらにもう1点」、取りにいこうとする強い意志が求められます。当然、相手も同じ気持ちで立ち向かってきます。ですから、試合というのは、ただ技術を競っているのではなく、心と心のぶつかり合いです。技術を鍛える練習以外の「直接競技とは関わらない、一見意味がないと思われる日頃の自分磨き」こそが、非認知能力を高め、ここ一番で心のぶつかり合いに負けない精神力の発揮につながるのです。」と。

振り返ってみますと、男子バレーボール部員の皆さんは、多くの八中生が知っているように、朝から、独自にあいさつ運動を行ったり、校内のトイレ清掃や各階廊下の水ぶき清掃を行ったりしてきました。これは、直接競技とは関わらない、一見意味がないと思える自分磨きです。「自分磨きをすることで、なりたい自分に近づく。」そんな姿を見せてくれたと考えています。

本校では、非認知能力を大切にした教育活動を進め、八中生の皆さんが、なりたい自分に近づけるよう後押ししたいと考えています。ぜひ、この男子バレーボール部のエピソードを他人事にせず、自分事にして、活用できるといいと思います。

## ここ1ヶ月の学校の様子から

全校いじめ防止集会6/24



仙台研修7/9



全校植栽6/30



あじさい祭合唱披露7/13



思いやりの気持ちを育む全校いじめ防止集会、理科における外部講師の先生を招聘しての授業（1,3年）は、今年度から行われました。県内大学などの教育資源の有効活用を進めています。

あじさい祭では恒例の合唱曲が披露されました。

「花いっぱい運動」でプランターに植栽したものは、地域のコミセンや福祉施設に送られました。地域との関わりが一層深まっています。

2年生は、仙台研修での進路学習、3年生は修学旅行での企業訪問のまとめを保護者に発表しました。

鶴高専の先生から学ぶ7/7



修学旅行研修発表会7/15



山形大学の先生から学ぶ7/17

